

## 来るべき災害に備えて

# 「平成24年度救護班要員研修会」を実施

日本赤十字社埼玉県支部では、災害救護活動を担うスタッフの養成を目的に、平成24年6月26日（火）から28日（木）の日程で、「平成24年度救護班要員研修会」を実施しました。

研修会には、埼玉県内各赤十字施設（埼玉県支部、さいたま赤十字病院、小川赤十字病院、深谷赤十字病院、埼玉県赤十字血液センター、特別養護老人ホーム彩華園）から、スタッフと救護員（医師、看護師、事務職その他）併せて58名が参加しました。

参加者は「赤十字と災害救護」「医療救護体制と活動」「トリアージ概論」等の講義を受けた後に、トリアージ実習や医療セットの取り扱い（医療職）、救護資機材（無線・衛星電話）の取り扱い（事務職）について学びました。

翌日は「こころのケア」に関する講義・ロールプレイがあり、最終日には、発災時さながらの緊迫した雰囲気の中で、dERU（国内型緊急対応ユニット）を用いた総合演習（医療救護シミュレーション）を行いました。

埼玉県支部では、このような研修・訓練を継続して実施することで、救護員の養成を計画的にすすめ、災害発生時に直ちに救護活動が行える体制づくりを今以上に整えることとしています。



トリアージ概論



トリアージ実習



総合演習



総合演習

## 「もっと身近に赤十字を」

### “もっと赤十字を身近に感じてほしい”

そんな思いをきっかけに、平成20年から開催しているイベント「赤十字ふれあい広場」を5月13日（日）、イオンモール羽生で開催しました。

広く県民の皆様へ赤十字運動への参加を周知するため、「献血」・「救命手当体験（心肺蘇生とAEDの使い方）」・「救護服を試着しての記念写真サービス」などを行いました。

今回はぽぷら弦楽四重奏団<sup>※</sup>さんに参加いただき、救命手当の体験やクラシックに加え、映画音楽・ジブリ・J-POPなど幅広いジャンルの演奏をしていただき、会場を盛り上げていただきました。

また、「献血」には209名もの多くの方々にご協力をいただくことができ、「救命手当体験コーナー」は親子で一緒に体験する姿が多くみられました。今後も赤十字活動とふれあえるイベントを開催しますので、ぜひご参加ください。

※「ぽぷら弦楽四重奏団」：女性のみによる弦楽四重奏団



お子さんもAEDの  
使い方を体験